

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D6K2		D6K2-E		D6N-E
		仕様		XL	LGP	XL	LGP	XL
		適用号機		WMR00001～	RST00001～	DFR00001～	JTR00001～	PER00001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコストール状態 (冷却水温) (作動油温)	rpm rpm rpm (℃) (℃)	2100±100 750 (-) (-) (-) (-)	2100±100 750 (-) (-) (-) (-)	2100±10 750±10 (-) (-) (-) (-)	2100±10 750±10 (-) (-) (-) (-)	2000 900 1935±70 (-) (-)
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	kgf/cm ² KPa (rpm)	3.2～ 315～ (通常運転) (最大回転)	3.2～ 315～ (通常運転) (最大回転)	2.9～ 280～ (通常運転) (2200)	2.9～ 280～ (通常運転) (2200)	3.2～ 315～ (通常運転) (最大回転)
		弁隙間 吸気弁隙間 排気弁隙間 [測定条件]	mm mm []	0.26±0.05 0.33±0.05 [冷時]	0.26±0.05 0.33±0.05 [冷時]	0.26±0.05 0.33±0.05 [冷時]	0.26±0.05 0.33±0.05 [冷時]	0.26±0.05 0.33±0.05 [冷時]
		気筒間圧縮圧力差 (冷却水温) (回転速度)	kgf/cm ² KPa (℃) (rpm)	～3.6 ～350 (-) (-)	～3.6 ～350 (-) (-)	～3.6 ～350 (-) (-)	～3.6 ～350 (-) (-)	～3.6 ～350 (-) (-)
ン	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² KPa	設定なし (コモンレール)	設定なし (コモンレール)	設定なし (コモンレール)	設定なし (コモンレール)	設定なし (コモンレール)
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 測定位置・条件 (kg と N の両方で 表記)	mm kg N	設定なし (自動張り 調整)	設定なし (自動張り 調整)	設定なし (自動張り 調整)	設定なし (自動張り 調整)	設定なし (自動張り 調整)
動 力 伝 達 装 置	クラッチ又は インチング ペダル		cm cm cm	—	—	—	—	—
	走行 クラッチ・ト ランミッシ ョン油圧	主クラッチ型	プースタ油圧又は クラッチシリンダー油圧	kg/cm ² KPa	—	—	—	—
		流体継ぎ 手型	トルコン油圧	kg/cm ² KPa	—	—	—	4.5±1.0 450±100
			ミッション潤滑油圧	kg/cm ² KPa	—	—	—	2.5±0.5 250±50
			クラッチ油圧	kg/cm ² KPa	—	—	—	—
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)		(℃) (rpm)	—	—	—	(84±8) (2000)
	プロペラ シャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	—	—	—	—	6.1±1.2 60±12
ス テ ア リ ン グ 装 置	レバー		レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	—	—	—	—
	ステアリングクラッチ油圧又は ステアリングクラッチダ油圧 (油温) (回転速度)		kg/cm ² KPa (℃) (rpm)	—	—	—	—	—

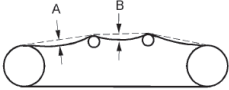
D6N-E	D6N-E2							
LGP	XL	LGP						
PBA00001～	GB600001～	MG500001～						
検査基準値								
2000 900 1935±70 (-) (-)	1800 850 1860±30 (-) (-)	1800 850 1860±30 (-) (-)						
3.2～ 315～ (通常運転) (最大回転)	3.2～ 315～ (通常運転) (最大回転)	3.2～ 315～ (通常運転) (最大回転)						
0.26±0.05 0.33±0.05 [冷時]	0.26±0.05 0.33±0.05 [冷時]	0.26±0.05 0.33±0.05 [冷時]						
～3.6 ～350 (-) (-)	～3.6 ～350 (-) (-)	～3.6 ～350 (-) (-)						
設定なし (コモンレール)	設定なし (コモンレール)	設定なし (コモンレール)						
設定なし (自動張り 調整)	設定なし (自動張り 調整)	設定なし (自動張り 調整)						
—	—	—						
—	—	—						
4.5±1.0 450±100	4.5±1.0 450±100	4.5±1.0 450±100						
2.5±0.5 250±50	2.5±0.5 250±50	2.5±0.5 250±50						
—	—	—						
(84±8) (2000)	(84±8) (1800)	(84±8) (1800)						
6.1±1.2 60±12	6.1±1.2 60±12	6.1±1.2 60±12						
—	—	—						
—	—	—						

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D6K2		D6K2-E		D6N-E
		仕様		XL	LGP	XL	LGP	XL
		適用号機		WMR00001～	RST00001～	DFR00001～	JTR00001～	PER00001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	張り (たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	—	—	—	—
	鉄シユール	張り (たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	50～65 [図 8]	50～65 [図 8]	50～65 [図 8]	50～65 [図 8]	40～50 [図 9]
		リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	—	—	—	—
		履板取付けボルト 締付けトルク 測定方法・条件	kg・m N・m	40. 8±7. 1 400±70	40. 8±7. 1 400±70	40. 8±7. 1 400±70	40. 8±7. 1 400±70	40. 8±7. 1 400±70 120±5° 増し締め
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件	床面勾配 1/5 以上	—	—	—	—	—
作業装置	シリンダー自然伸縮	ブル・ドーザー ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	32/2. 75 地面から 254mm	32/2. 75 地面から 254mm	32/2. 75 地面から 254mm	32/2. 75 地面から 254mm	32/2. 7 地面から 254mm
		ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	13/2. 75 チルト左一杯	13/2. 75 チルト左一杯	13/2. 75 チルト左一杯	13/2. 75 チルト左一杯	13/2. 7 チルト左一杯
		リッパースhiftシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—
		リッパースhankシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—
		ドーザー・ショベル リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—
	作業機速度	パケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—
		(作動油温)	(℃)	49～68	49～68	49～68	49～68	49～66
		ブル・ドーザー ブレード上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	2. 0±0. 2 地面～最大	2. 0±0. 2 地面～最大	2. 0±0. 2 地面～最大	2. 0±0. 2 地面～最大	2. 7±0. 2 地面～最大
		リッパースhift(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—	—	—	—	—
		ドーザー・ショベル リフトアームシリンダー上げ(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—	—	—	—	—
油圧装置	圧回路設定圧力	パケットチルトバック(又はダンピング) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—	—	—	—	—
		(作動油温)	(℃)	55±10	55±10	55±10	55±10	65±5
		主回路設定圧力	kg/cm ² MPa (℃)	249±5 24. 5±0. 5 55±10	249±5 24. 5±0. 5 55±10	252±5 24. 7±0. 5 55±10	252±5 24. 7±0. 5 55±10	239±2 23. 5±0. 2 55±10

D6N-E	D6N-E2							
LGP	XL	LGP						
PBA00001～	GB600001～	MG500001～						
検査基準値								
—	—	—						
40～50 [図 9]	40～50 [図 9]	40～50 [図 9]						
—	—	—						
40. 8±7. 1 400±70 120±5° 増し締め	40. 8±7. 1 400±70 120° 増し締め	40. 8±7. 1 400±70 120° 増し締め						
—	—	—						
32/2. 7 地面から 254mm	32/2. 7 地面から 254mm	32/2. 7 地面から 254mm						
13/2. 7 チルト左一杯	13/2. 7 チルト左一杯	13/2. 7 チルト左一杯						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
49～66	49～66	49～66						
2. 7±0. 2 地面～最大	2. 7±0. 2 地面～最大	2. 7±0. 2 地面～最大						
—	—	—						
—	—	—						
65±5	65±15	65±15						
239±2 23. 5±0. 2 55±10	238 23. 4 55±10	238 23. 4 55±10						

キャタピラー

項 目	測 定 方 法
図 8. D6K2 の履帯の張り測定方法	1. 車両をその全長の 2 倍の距離だけ前方に動かす。 トラベルコントロールペダルを使用して、速度がゼロになるまで車両をゆっくり減速し、エンジンを停止させる。 2. フロントアイドラとトラックキャリヤローラの間でトラックの上に立ち、トラックをできるだけたるませる。 3. 各トラックの 2 箇所 (A 及び B) でトラックのたるみを測定し、たるみ量の合計が 50～65mm が適正值である。 
図 9. D6N-E、D6N-E2 の履帯の張り測定方法	たるみ量の合計が 40～50mm が適正值である。 